

京都御苑歴史散策コース

宮家・公家コース

60分

11	閑院宮邸跡	閑院宮家は、宝永7年(1710)に東山天皇の皇子、直仁(なおひと)親王を初代として創設されました。今上天皇に繋がる第119代光格天皇はこの閑院宮家のご出身です。
12	巖島神社	九條家の邸内社。宗像三女神と祇園女御を併せて祀り、池の弁天さんとして信仰を集めています。唐破風鳥居は、蚕ノ社・伴氏社の鳥居とともに京都三珍鳥居の一つとして有名です。
13	むなかた 宗像神社	平安時代初期、藤原冬嗣(ふゆつぐ)が筑紫(現在の福岡県)から勧請した神社で、宗像三女神を祀っています。本殿の北側には樹齢600年といわれる楠の巨木があります。
14	しらくも 白雲神社	西園寺家の邸内社で、妙音堂には弁財天が祀られています。西園寺家は明治になって東京へ移りますが妙音堂は白雲神社と名を変え現在地に残りました。
15	西園寺邸跡	西園寺家は琵琶の宗家で、摂関家につぐ清華家という高い家格の公家です。家名は藤原公経(きんつね)が北山(現在の金閣寺のあたり)に建てた西園寺に由来します。
16	びわ 枇杷殿跡	平安時代初期に創建。藤原道長が所有していた時、一条、三条両天皇の里内裏となっています。紫式部はこの邸で女房として仕えていたといわれています。

幕末コース

90分

21	堺町御門	御苑で唯一南側にある門。文久3年(1863)にこの周辺で「8月18日の政変」と呼ばれる出来事がありました。葵祭や時代祭の行列はこの門を通り市中へ向かいます。
22	いはんひ 貽範碑	中川宮朝彦親王の業績を顕彰した碑。親王は日米修好通商条約の締結に反対し、幕府と対立。やがて、孝明天皇を補佐し、「8月18日の政変」で中心的な役割を果たしました。
23	蛤御門	この門は現在地より東寄り、南向きに建っていました。元治元年(1864)ここで、長州藩と会津・薩摩藩等が戦う「禁門の変」が勃発。京都は戦火で大きな被害を受けました。
24	学習院跡	学習院は光格天皇のご遺志を継いだ仁孝天皇により、公家の子弟の教育機関としてつくられました。明治になり東京に同名の学校が設立され、当時の扁額が明治天皇から下賜されました。
25	橋本家跡	橋本家は皇女和宮の生家。和宮は公武合体政策により、有栖川熾仁(たるひと)親王との婚約を解消され、徳川幕府第14代将軍家茂(いえもち)に嫁ぎました。
26	猿ヶ辻	御所の築地堀の東北角には御幣を担いだ木彫りの猿が鬼門除けとして置かれています。文久3年(1863)に尊王攘夷の急進派であった姉小路公知(きんとも)が襲われた「猿ヶ辻の変」の舞台です。
27	中山邸跡	権大納言中山忠能(ただやす)邸跡。木造平屋建て21坪程の産屋が創建当時のまま残されています。ここで誕生された孫の祐宮(さちのみや)は後に明治天皇となります。
28	近衛邸跡	近衛家は摂政・関白に任じられる五摂家の一つ。家名は、近衛大路(現在の出水通)に面していたことに由来します。邸の糸桜は昔から有名でした。幕末には篤姫もおとずれています。

※追加説明史跡 (鷹司邸跡) (西園寺邸跡) (清水谷家の棕) (凝華洞跡) (有栖川宮邸跡) (桂宮邸跡)

御苑東コース

90分

30	九條邸跡	摂政・関白に任じられる五摂家の一つ。数寄屋造書院風の茶室「拾翠亭」が残されています。明治期には九條池に高倉橋が架けられ、夏はサルスベリ、秋は櫨(ハゼ)の紅葉などが趣を添えます。
31	博覧会場跡	明治6年(1873)の第2回から御所、仙洞・大宮御所等で開催。同14年(1881)から同29年までは、御苑の東南部に建設された常設の会場が使われ、大いに賑わいました。
32	桜町	平安の歌人紀貫之の屋敷跡といわれています。広大な敷地には桜が多く植えられていました。源氏物語の「末摘花(すえつむはな)」「花散里(はなちるさと)」「空蟬(うつせみ)」の舞台に想定されています。
33	仙洞御所	後水尾天皇の譲位後の御所として寛永4年(1627)に造営され、上皇は約50年間過ごされました。安政の大火で焼失した後は、再建されずに庭園のみが残りました。
34	京都新城	慶長2年(1597)、豊臣秀吉は御所の近くに太閤御屋敷とも呼ばれる城郭風邸宅を造営しました。秀吉の死後には正室の北政所(高台院)が住みました。
35	土御門第跡	平安時代中期に摂政・太政大臣となった藤原道長の邸宅がありました。土御門大路(現上長者町通)に面していたところから「土御門第(殿)」と呼ばれました。
36	染殿井	平安時代初期に、藤原良房の屋敷「染殿第」がありました。良房の孫にあたる清和天皇の退位後の御所(後院)にもなっています。染殿井は祐井・縣井とともに「御所の三名水」の一つです。
37	石薬師御門	門前は真如堂の旧地で、その境内に石薬師が祀られていたのでこの名前があります。ここで、明治2年(1869)市民が皇后の東幸に反対、天皇の還幸を求めて請願デモを行ないました。

※追加説明史跡 (清和院御門) (饗宴場跡) (京都迎賓館) (画学校跡)